

一般社団法人日本解剖学会 2023 (令和5) 年度第5回常務理事会議事録

日時：2023 (令和5) 年9月16日 (土) 13:00～16:00

場所：一般財団法人口腔保健協会 3階 302会議室

出席者：寺田 純雄 (理事長)、大和田 祐二、尾崎 紀之、仲嶋 一範、福田 孝一 (以上、常務理事)、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀 (以上、常任幹事)、中村 聡 (口腔保健協会)

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- (1) 2023(令和5)年度第4回常務理事会 (2023 (令和5)年6月24日開催) 議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

・令和5年6月分

入会者：正会員 2名、学生 1名

退会者：正会員 5名、名誉会員 1名、永年会員 1名

・令和5年7月分

入会者：正会員 4名、学生 1名

退会者：正会員 5名、名誉会員 1名、永年会員 2名

・令和5年8月分

入会者：正会員 6名、学生 3名

退会者：永年会員 1名

・逝去会員 5名

芹澤 雅夫 氏 (獨協医大・名誉教授/永年会員) 令和5年2月19日逝去 (満87歳)

中野 勝磨 氏 (三重大・名誉教授/永年会員) 令和5年5月23日逝去 (満86歳)

加地 隆 氏 (弘前大・名誉教授/永年会員) 令和5年5月26日逝去 (満79歳)

青山 裕彦 氏 (広島大・名誉教授/永年会員) 令和5年6月27日逝去 (満70歳)

佐野 豊 氏 (京都府医大・名誉教授/名誉会員) 令和5年7月23日逝去 (満97歳)

・新規就任教授 2名

永石 歓和 先生 (札幌医大・解剖2・教授 令和5年6月1日就任)

井上 浩一 先生 (奈良県医大・解剖1・教授 令和5年8月1日就任)

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、学会事務局で保管、ホームページ掲載などの対応を行っていることが報告された。

・通知、依頼：日本科学振興協会より「年次大会2023 “会いに行ける科学者フェス” 開催のお知らせ」他51件

・書籍、定期通信 他：(公社) 日本麻酔科学会より「Journal of Anesthesia 37(3)」 他8件

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、第21期第3回運営委員会 (2023年8月30日) の内容などが報告された。

(4) 2023(令和5)年度推薦による代議員申請状況について

資料に基づき、3名の申請があったことが報告された。

(5) 若手研究者の会報告

資料に基づき、第129回全国学術集会での子連れ参加への支援、「人体解剖セミナー」(名古屋大学主催) における参加旅費支援、2024年春の学校、若手研究者の会の掲示板の運用について報告された。

(6) 各大学の倫理審査に関するアンケート実施について

資料に基づき、「ご遺体を用いた人体構造に関する研究および手術手技修練に関する倫理審査等の手続きに関するアンケート調査」をオンラインで実施中であり、回答の締め切りが2023年9月30日であることが報告された。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、解剖学雑誌98巻2号ならびにASI98巻4号が2023年9月末日に会員に発送予定であることが報告された。

(2) ASIにおける2022年インパクトファクターについて

資料に基づき、2022年のIFや過去5年間のIFの推移について報告された。IFの上昇のための方策と次回の契約の参考にするために、**annual report**を早めに出してもらうことや、引用のされ方の統計調査を求める意見が出された。

(3) 次期ASI編集委員長について

現在、次期編集長の人選を進めていることが報告された。

(4) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2023(令和5)年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、3名の応募者に対して、9月9日に試験実施されたこと、現在採点中であり、12月の理事会に結果が諮られることが報告された。

(2) 認定二級技術者資格審査結果について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会における審査の結果、2名の受験者が合格と判定されたことが報告された。

(3) 2023(令和5)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況について

資料に基づき、現在募集中であることが報告された。また、学生会費に該当する会員の更新手続きについて受付中であることが報告された。

(4) 2024(令和6)年度第129回総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき、第129回総会・全国学術集会は、高山千利先生（琉球大学）を会頭として、2024年3月21日（木）～23日（土）に開催予定であること、および子連れ参加支援への取り組み、ホームページへの掲載、シンポジウムおよびプログラムの進行状況、今後の予定等が報告された。

(5) 2027(令和9)年度第132回総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、1大学から開催希望の届出があったことが報告された。

(6) 日本医学会報告・日本医学会連合報告

資料に基づき、臨時評議員会で決定された日本医学会、および日本医学会連合の新役員、ならびに門田守人会長の訃報が報告された。

(7) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、高等学校の生物教育における教育用語集の作成に関わる用語調査依頼があったこと、解剖学用語委員会が対応していることが報告された。

(8) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、日本パーキンソン病・運動障害疾患学会の入会承認が報告された。

(9) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

資料に基づき、以下のことが報告された。

・2024年第129回総会・全国学術集会において開催される第5回日韓解剖学会国際合同シンポジウムで下記の3名が講演予定であり、また現在KAAに3名の派遣を依頼している。

大野 伸彦 先生（自治医大・解剖学講座組織学）

横溝 智雅 先生（東京女子医大・顕微解剖学・形態形成学）

今崎 剛 先生（神戸大・医・生体構造解剖学）

・第10回APICAは2023年11月30日(木)～12月3日(日)にダニーデン(ニュージーランド)で開催予定である。また、Scientific Advisory Boardに大和田企画渉外担当理事を推薦済みである。

・第21回IFAAを2024年に韓国で開催予定であり、開催にあたってはKAAに協力する予定である。

(10) 日本外科学会CST推進委員会報告

今後、交代する可能性のある解剖学会からの委員について、候補を検討していくことが報告された。

(11) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 2023(令和5)年度中間決算書について

資料に基づき、2023（令和5）年度7月次中間決算報告（2023年1月1日～7月31日）の内容が報告された。

(2) 第128回総会・全国学術集会収支・開催報告

資料に基づき、大和田祐二会頭（東北大学）から提出された第128回日本解剖学会総会・全国学術集会報告書ならびに収支決算報告書の内容が報告された。

(3) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) 篤志解剖全国連合会「会議へのオブザーバー参加依頼」について

資料に基づき、篤志解剖全国連合会より、連携強化および情報共有のために運営会議（年3回）と理事会（年1回）にオブザーバー参加の依頼があったことが説明され、解剖学会として対応することが報告された。

(2) 献体協会賞（トラベルアワード）副賞増額について

資料に基づき、献体協会賞の副賞が昨年度までの総額20万円（4件程度、最大5件）から、1件7万円（4件程度、最大5件まで）に増額されたことが報告された。

(3) 日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価実地調査について

資料に基づき、日本医学教育評価機構（JACME）医学教育分野別評価実地調査において解剖実習のための献体管理についての項目が加えられたことが報告され、さらに、質問事項および追加資料の提示要求などについて情報提供があったことが報告された。

(4) その他

特になし。

6. その他

(1) 事務局担当者の交代について

長らく日本解剖学会を担当されてこられた中村聡氏から小森健太氏に担当を交代すること、中村氏には引き続きサポートいただけることが報告された。また、メールアドレスやメーリングリストの更新予定について説明があった。

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、令和5年6月1日から8月31日までに入会申請のあった正会員12名、学生会員5名について審議の結果、全員の新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員について

資料に基づき、教授就任に伴う以下の2名の代議員申請者について審議の結果、代議員の就任が承認された。

- ・永石 歓和 先生（札幌医大・解剖2 教授 令和5年6月1日就任）
- ・井上 浩一 先生（奈良県立医大・解剖1 教授 令和5年8月1日就任）

3. 休会申請について

資料に基づき、休会申請1件が承認された。

4. 第129回全国学術集会シンポジウム「ご遺体を用いる解剖学教育についての諸課題の現状報告」対応について

資料に基づき、第129回全国学術集会で開催予定のご遺体を用いる解剖学教育についてのシンポジウムについて、説明がなされた。参加者の登録方法や運営方法について、種々の意見交換のちに開催が承認された。

5. 基本財産運用方針の確認

資料に基づき、10月に満期を迎える1年定期について、満期後も1年満期の定期預金での運用の継続が承認された。

6. 会計ソフト導入について

資料に基づき、本年10月からのインボイス制度本格実施対応として会計ソフトの導入について検討を行ったが、今回の導入は見送ることとなった。

7. その他：次回会務の確認

次回の常務理事会および理事会の日程は下記の通りとなった。

2023(令和5)年12月16日(土)

常務理事会 10:30-13:30、理事会 14:00-17:00(開場13:30)